

美利河ダムの魚道

美利河ダムの魚道には様々な工夫が取り入れられています。

低々水路



ダム直下から下流への360m区間は、魚の遡上を確保するために河道を部分的に掘り下げた低々水路を設置しています。形状は自然の川に近づけるため蛇行させています。

待避プール



制水面 + 隠れ場所
チュウベツ川まで約2.4kmと長いので、途中に休憩緊急避難越冬の場所として、待避プールを設置しています。

階段式魚道



階段式魚道は、越流隔壁を半円型に切り欠いた型式を採用し、大型魚類の遡上に配慮。潜孔を設け、底生魚の遡上に配慮した構造です。

観察施設



階段式魚道内の観察施設では魚の遡上を観察することができます。

多自然型魚道



緩勾配部
自然河川に近い条件にするため、水路内は自然石・現地掘削土を使用
植樹帯を設置し、日陰を創出
瀬と淵を設け流況に変化をつける
を考慮した構造です。

チュウベツ川合流点



取水堰と余水吐き施設は魚道への流量の安定供給
魚のダム湖迷入防止対策を考慮した構造です。